

開催地名：静岡県下田市	
開催日時	令和4年11月8日（火） 14：00 ～ 15：30
開催場所	下田市民文化会館
語り部	山田 修生 （宮城県仙台市）
参加者	市職員、自主防災組織 23名
開催経緯	<p>当市は、南海トラフ巨大地震、東海地震における津波被害が想定されており、災害時に迅速な避難、対応、その後の復興活動等に活かすために、普段からの自主防災組織を中心とする備えや、計画の策定が課題となっている。災害伝承10年プロジェクトによる講演を通じて、下田市の自主防災会の防災意識を高め、東日本大震災の教訓を各地域の活動に活かしたい。</p>
内容	<p>（1）東日本大震災とは</p> <p>2011年3月11日14時46分に、水深6,500メートルにある縦500キロ、横200キロの広さの海底プレートの跳ね上がりによって発生した地震は、マグニチュード9.0に達し、1,000年に1度の規模の災害と言われている。</p> <p>地震発生時、私は自宅にいた。突然、地下からすごい勢いで突き上げる感じの揺れを感じた。体が床からボーンと跳ね上がるような感じがした。それから縦揺れ、横揺れ、ななめ揺れと、今まで体験したことのないくらい長い時間揺れが続いた。このまま死んでしまうのではないかという恐怖感の中、家族の安否を大声で確認するのが精一杯だった。全く身動きがとれず、両手両足で何かにつかまっていなくて立っていられない程であった。各地で地震に関する講演や研修を行ってきた身であるが、頭が真っ白になり、どのように対処すればよいか全く分からなくなってしまった。</p> <p>揺れが収まってから、津波に備えるために、住んでいるマンションの住民を避難所へ誘導した。これまで実施してきた避難訓練は、町内会の有志が集まったものだったが、町内会ごとの自主防災組織は全く機能せず、家族、あるいは近所同士といった小単位での避難を余儀なくされたのが実状である。地下の排水管からは水が噴出し、電信柱などは倒壊して火花を散らしていた。津波が来ることを想定し、とにかく海岸からできる限り離れるように避難した。地震が収まった後、指定避難場所に移動したが、津波が届く恐れがあったため、自衛隊のヘリコプターで別の指定避難所まで一人一人運んでもらった。周りの人は泣き叫んでいる人が多かったため、拡声器を持って避難民を鼓舞し、懐中電灯と携帯電話またはラジオを持って行動するよう指示した。</p> <p>（2）東日本大震災から学んだこと</p> <p>東日本大震災は、災害対策を決して怠っていたわけではないが、これまでの取り組みが無効だと感じてしまう程の規模であった。同規模の地震・津波発生時は、「より遠く、より速く、より高く」を意識して、まずは自分の命を守ることを第一に考えて行動してほしい。避難時には、声が大きく統率力のとれる人が先頭に立つのが良い。気が動転している人が沢山いるため、混乱している人を鼓舞することが大切である。</p>

	<p>みなさんに実施してほしい取り組みは、可能であれば家族間で1部屋を「自宅避難場所」として設定し、物を置かずに、災害時に家族が集合する部屋とすることである。また、避難訓練は大体において、土曜日や日曜日など仕事をしている人の休日に開催するのが一般的であるが、今回の大震災のように平日の日中に発生した場合は、自宅には主婦や高齢者、乳幼児しかいないため、主婦を中心とする女性中心の防災訓練や、要援護者対応を実施していただきたい。そして、自主防災会や役員への女性の登用についても、今後は推進していく必要がある。</p> <p>また、各地域で、災害時に当面の避難生活を行なう避難所として、指定避難所が設定されている。下田市の場合は、市内の8つの小・中学校が該当する。指定避難所となっている学校の近隣に居住されている方々については、平常時の防災訓練等で、学校との連携を密にしていきたいと思う。そうすることで災害時にも連携がスムーズに行なえるはずだ。</p> <p>(3) さいごに</p> <p>公助が機能するまでの72時間、自助と共助で乗り切る必要がある。3日間は役所の援助を頼らずに頑張れるよう、必要なものの備蓄や準備に取り組んでいただき、まずは自分の命を、そして家族の命を優先に考え、行動していただきたいと思う。</p> <p>経験は決して自分を裏切らず、役に立ってくれるものである。防災訓練、避難訓練等、役に立たないと思わずに、いざとなったらこれは必ず役に立つと考えて参加してほしい。避けられない災害と共生することを意識して、備えは怠らずに生活していただきたいと思う。</p> <div data-bbox="395 1106 884 1469" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="896 1106 1385 1469" data-label="Image"> </div>
<p>開催地より</p>	<p>講師の方には、ご自身の東日本大震災時の体験談を交えながらわかりやすくお話していただいた。本日参加した自主防災組織の方々には、防災について再認識してもらったいい機会になったと思う。今日のお話をベースに、災害時の避難場所の周知や、感染症対策を踏まえた救護所訓練を強化していきたい。</p>